

令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工観光課

1 施設の概要等

施設名	府中市羽高湖サン・スポーツランド		
所在地	府中市諸毛町3000番地		
設置目的	体力の増進と余暇活動の充実を図る		
施設・設備	多目的広場、ローラースケート場、テニスコートほか		
指定管理者	R6.4.1	～	R11.3.31 (有)ジャパンクリーンサービス

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	10,000 人	17,133 人	11,773 人	7,133 人	171.3	%
	R5	17,133 人	4,859 人	-12,274 人	-12,274 人	28.3	%
	R6	19,645 人	2,944 人	-1,915 人	-16,701 人	14.9	%
	R7	人	人	人	人		%
	R8	人	人	人	人		%
増減理由	多目的広場を利用したスポーツ競技の減少、テニスコート利用については、最近の4～5年間に、かつてのテニス愛好者グループメンバーの高齢化も影響し、大会の実現まで誘致の協議が進められていないのが実情である。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】		【対象・人数】	
	アンケート調査の実施により、利用者のニーズ把握を行っている。		管理事務所で利用申請書を提出される際に、併せてアンケート調査を実施している。	
	【主な意見】		【その対応状況】	
	・キャンプ場がきれいに整備され、清掃もきちんと行われており、いつ来ても気持ちが良い。湖と豊かな自然のロケーションは最高に癒される。トイレが整備され、気持ち良く利用させてもらっている。サイトの近くにシャワー室があると良い。		リピータに多く利用いただいており、年に3～4回、多い方で月1回という利用客も多い。コロナ以降旅行者の人数が減る傾向にある中、新規の顧客を増やして、リピーター客として定着させることが極めて重要と考えている。	

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考	
報告書	年度	○		
	月報	○		
	日報(必要随時)	×		
管 理 運 営 会 議		【特記事項等】		
1 回 会場 府中市		施設運営管理、業務の引き継ぎ、運営体制等について協議		
現 地 調 査 (実 施 月)		【指定管理者の意見】		
1月	2月	3月	4月	5月
6月	7月	8月	9月	10月
11月	12月			

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市 委 託 料 (決 算 額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	5,546	156		R4	1,609	402
	R5	5,677	131		R5	140	-1,469
	R6	5,841	164		R6	121	-19
	R7	5,841	0		R7		
	R8				R8		

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R5決算額	R6決算額	対前年度比	主な増減理由等
委 託 事 業	市 委 託 料	5,677	5,841	164	
	料 金 収 入	0	142	142	
	そ の 他 収 入	25	0	-25	
	計 (A)	5,702	5,983	281	
	人 件 費	17	3,914	3,897	指定管理者変更による対象経費算出方法変更
	光 熱 水 費	820	336	-484	
	設備等保守点検費	490	936	446	
	清掃・警備費等	0	0	0	
	施設維持修繕費	349	418	69	
	事 務 局 費	2,986	314	-2,672	指定管理者変更による対象経費算出方法変更
	そ の 他 支 出	189	65	-124	
	計(B)	4,851	5,983	1,132	
	収支①(A-B)	851	0	-851	
自 主 事 業	収 入 (C)	0	0	0	
	支 出 (D)	0	0	0	
	収支②(C-D)	0	0	0	
合 計 収 支 (① + ②)		851	0	-851	

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、利用料金の引上げによる利用者の減少は否めない。夜指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。
指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	多目的広場の利用については、野球等の施設利用の大会会場や練習会場として利用いただいているが、類似の他施設利用に変更されるケースも多い。その場合、常時利用のある団体に対して、リピーターとして利用していただくよう、平素の顧客管理を徹底したい。一方、スポーツに限定せず、ゼロハンカーレース等、試作品の競技大会なども誘致したいと考えている。今後は、広域で楽しめるイベント会場としても利用いただくよう、情報収集に努めたい。次に、ローラースケート場の活用については、水温が下がり始めるころからニジマスなどの「釣堀」の実現可能性について調査をしたいと考えている。問題は、常時供給出来る水管理である。一方、夜間照明付テニスコートの利用については、近年、利用者が極端に減少しているが、それは、かつてのテニス愛好者メンバーの高齢化によるものである。これまでの利用申込書をたどり、個別に大会実現への可能性について協議を進めていきたい。	多目的広場、ローラースケート場等利用用途に限らずさまざまな用途で利用数を増やせるよう広報や事業計画を実施し、積極的な利用者増加促進をお願いする。

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	テニスコートを利用する方から「ボールにコートのグリーンの色が付着する」と指摘があるので、この改善が出来なければ大会誘致は困難」とのご意見もいただいている。どの会場も駐車場から近いという立地性の強みもあるので、それぞれの施設の利用価値を絞り込んで整理して、それぞれのニーズに応える施設利用価値を組み立てて、顧客の誘致活動を積極的に図りたい。	利用者が固定化しているため、認知向上、新規獲得に向けた積極的な取り組みが必要。 また、適切な施設維持管理や府中市との円滑な関係性構築をしっかりと図っていただきたい。